

2022年3月期決算説明



2022年5月24日

片倉コープアグリ株式会社

会社概要	3～4
------	-----

2022年3月期 連結決算業績

2022年3月期 連結業績サマリー	6
連結貸借対照表増減	7
主要経営指標	8
連結キャッシュ・フロー	9
連結業績 セグメント	10～14
株式の配当金推移	15



片倉コープアグリ株式会社

設立	大正9年(1920年)3月14日
本社所在地	東京都千代田区九段北1-8-10
資本金	4,214百万円
従業員数	635名(単体)
	839名(連結)
発行済株式の総数	10,161千株
株主数	6,041名(2022.3.31現在)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場



”たわわに実った農作物のしなり” のイメージをモチーフしてデザインしました。
確かな技術で未来を創造していく企業をイメージしています。

■：作物や農業 ■：情熱、力強さ、太陽 ■：地球、水、空、大自然

基本理念
行動規範

企業活動を通して社会に貢献する

- ・ 創造と挑戦
- ・ 安全と安心
- ・ 公明正大
- ・ 明朗闊達

コーポレートメッセージ 稔り豊かな未来に貢献したい

2022年3月期



連結決算業績

2022年3月期 連結業績サマリー

(単位:百万円)

連結	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	
			対前期
売上高	35,444	38,960	+3,516
営業利益	1,242	1,123	▲119
経常利益	1,260	1,207	▲53
当期純利益	829	1,022	+193

2022年3月期 利益

主力である肥料事業における肥料価格の値上がりや、化学品事業における工業用リン酸販売価格の見直しにより、売上高は38,960百万円(前年同期比9.9%増)となったものの、燃電力料及び原料価格の高騰等により営業利益1,123百万円(前年同期比9.6%減)、経常利益1,207百万円(前年同期比4.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,022百万円(前年同期比23.3%増)となりました。

連結貸借対照表増減

資産合計

負債純資産合計

(単位:百万円)

流動資産 +2,695

主な要因

- ・原材料及び貯蔵品 +1,348
- ・受取手形及び売掛金 +1,128
- ・商品及び製品 +1,115
- ・現金及び預金 ▲813

有形・無形固定資産 ▲355

主な要因

- ・土地 ▲352
- ・リース資産 ▲64
- ・建物及び構築物 +69

投資他 +199

主な要因

- ・長期前払費用 +242
- ・繰延税金資産 ▲31

流動負債 +1,935

主な要因

- ・支払手形及び買掛金 +1,900
- ・未払法人税等 +139

固定負債 ▲113

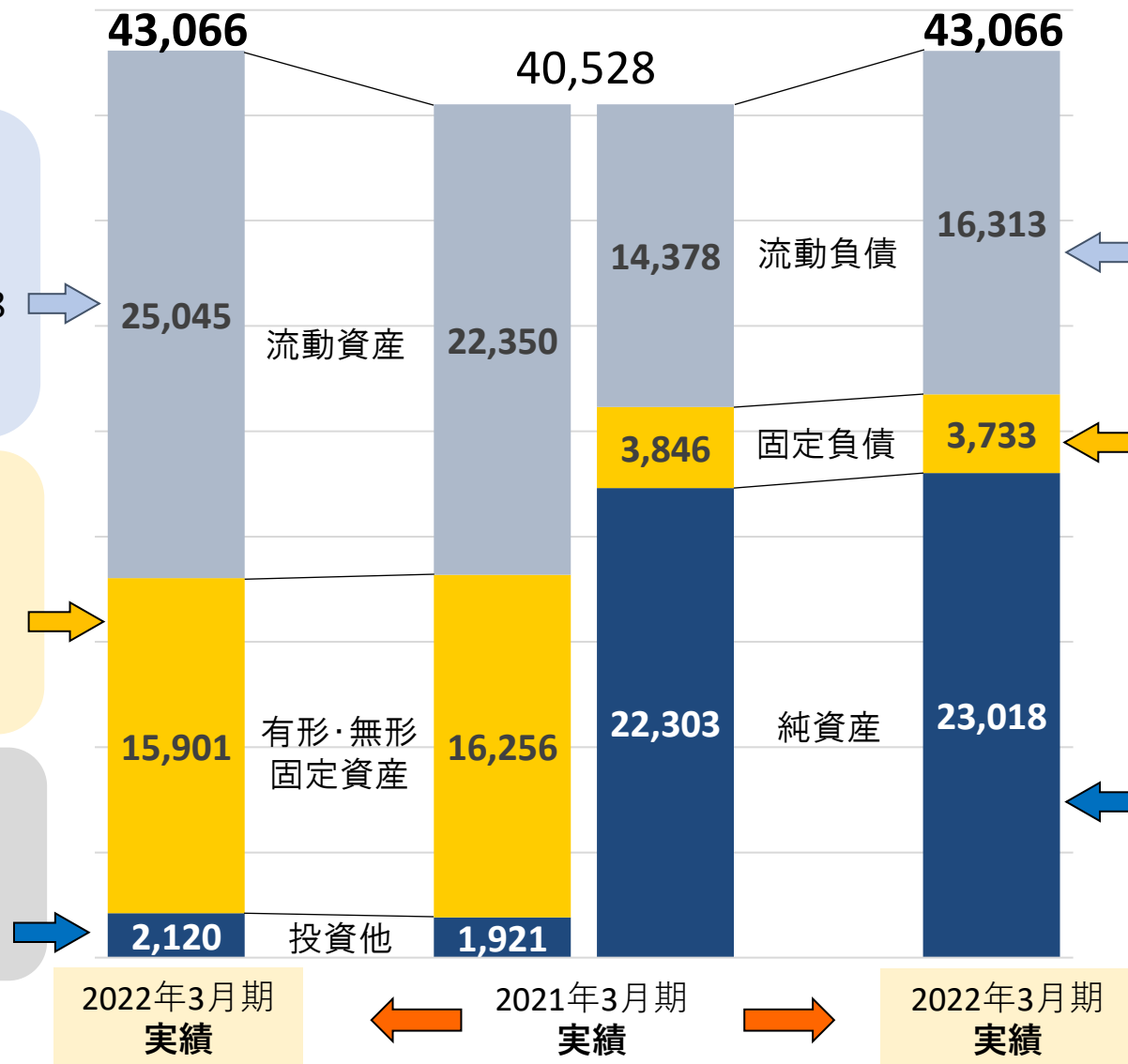
主な要因

- ・退職給付に係る負債 ▲363
- ・リース債務 ▲66
- ・資産除去債務 +296

純資産 +715

主な要因

- ・利益剰余金 +573
- ・退職給付に係る調整累計額 +112



主要経営指標

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	対前期
資本金(百万円)	4,214	4,214	-
総資産(百万円)	40,528	43,066	+2,538
純資産(百万円)	22,303	23,018	+715
有利子負債(百万円)	6,775	6,745	▲30
ネット有利子負債(百万円)	3,966	4,750	+784
1株当たり純資産(円)	2,487.21	2,565.65	+78.44
1株当たり配当額(円)	50.00	57.00	+7.00
株主資本比率(%)	55.1	53.2	▲1.9
株主資本当期純利益率(%) (ROE)	3.7	4.5	+0.8
総資産経常利益率(%) (ROA)	3.1	2.9	▲0.2
配当性向(%)	54.7	49.9	▲4.8

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績
営業キャッシュフロー	2,717	341
税金等調整前当期純利益	1,131	1,149
減価償却費	1,264	1,319
売上債権の増減額(増加:▲)	283	▲1,117
たな卸資産の増減額(増加:▲)	132	▲2,317
仕入債務の増減額(減少:▲)	▲59	1,900
未払消費税等の増減額(減少:▲)	444	▲303
その他	▲478	▲290
投資キャッシュフロー	▲2,008	▲529
財務キャッシュフロー	▲1,290	▲624
現金及び現金同等物の期末残高	2,754	1,941
現金及び現金同等物の増減額	▲581	▲813

主な要因

- ・有形固定資産の取得による支出 ▲1,101
- ・有形固定資産の売却による収入 644

主な要因

- ・配当金の支払額 ▲447
- ・長期借入金の返済による支出 ▲300
- ・短期借入金の純増減額 270

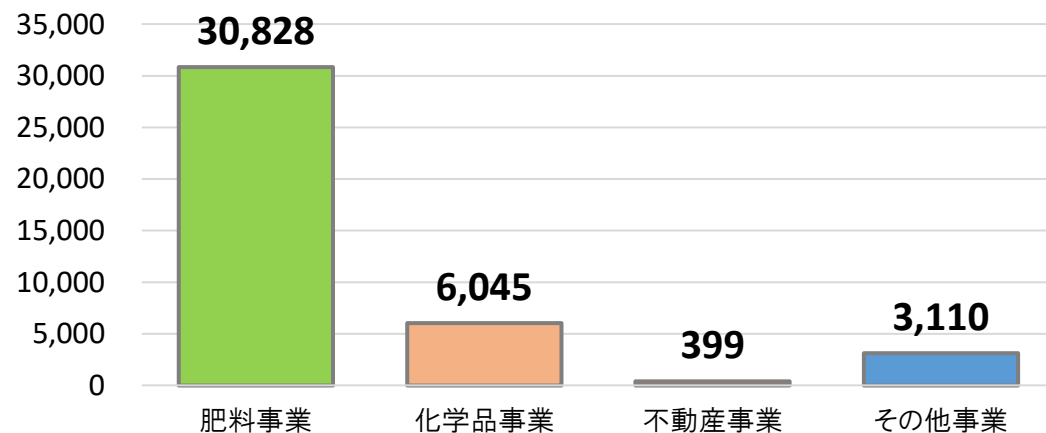
連結業績 セグメント

(単位:百万円)

	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	前年対比	
					売上高	営業利益
肥料事業	28,454	1,517	30,828	1,274	+2,374	▲243
化学品事業	4,745	395	6,045	624	+1,300	+229
不動産事業	545	298	399	143	▲146	▲155
その他事業	3,000	▲47	3,110	51	+110	+98
合計	36,745	2,164	40,383	2,094	+3,638	▲70

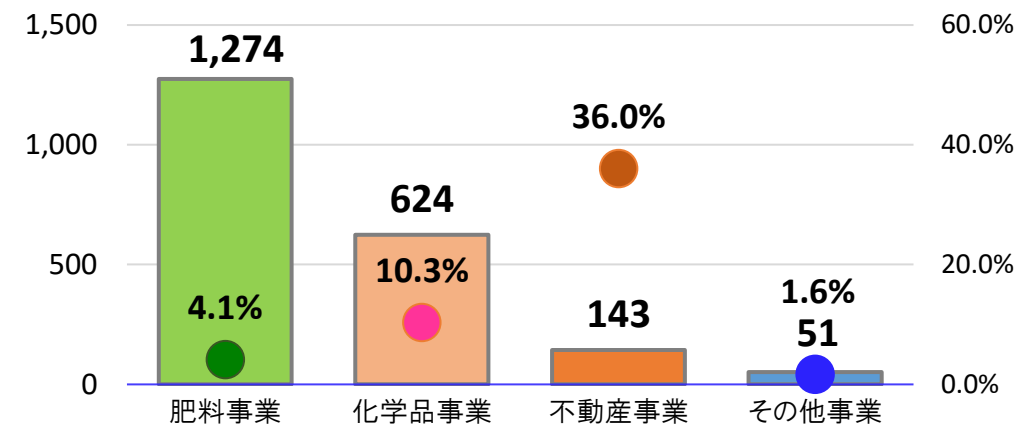
(百万円)

売上高

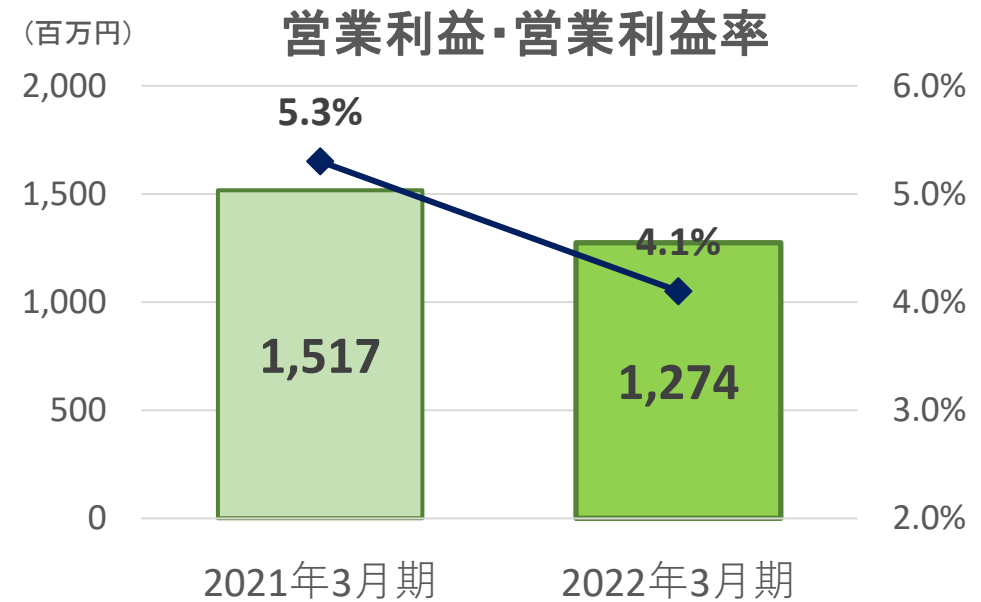
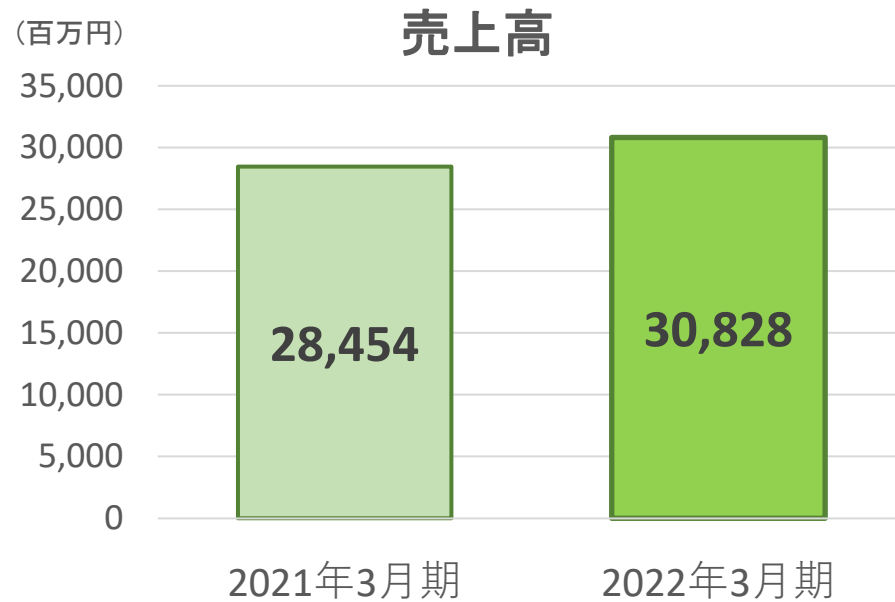


(百万円)

営業利益



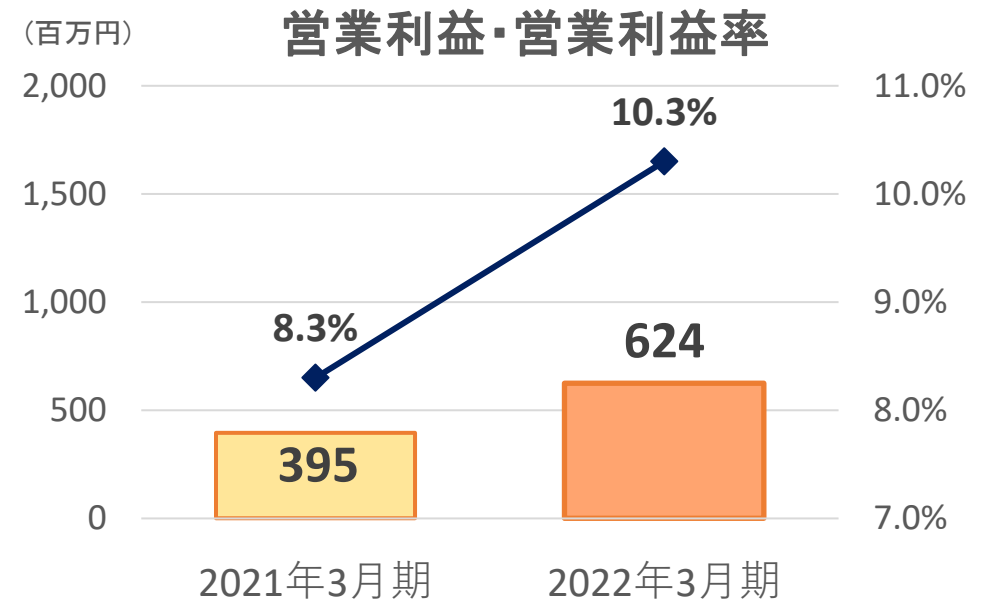
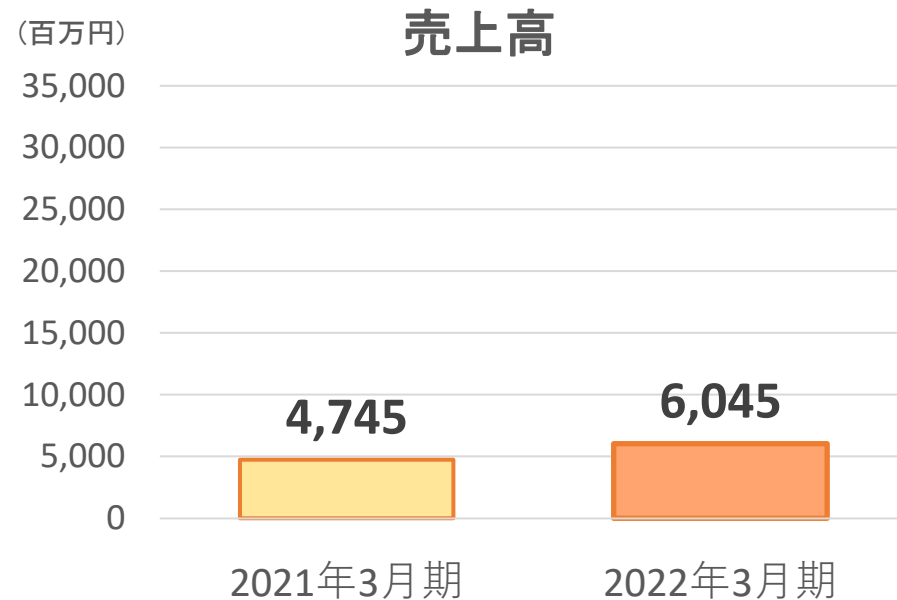
肥料事業



◆当社の取組み

肥料価格の値上がりにより、売上高30,828百万円(前年同期比8.3%増)となったものの、燃電力料及び原料価格の高騰により、セグメント利益は1,274百万円(前年同期比16.1%減)となりました。

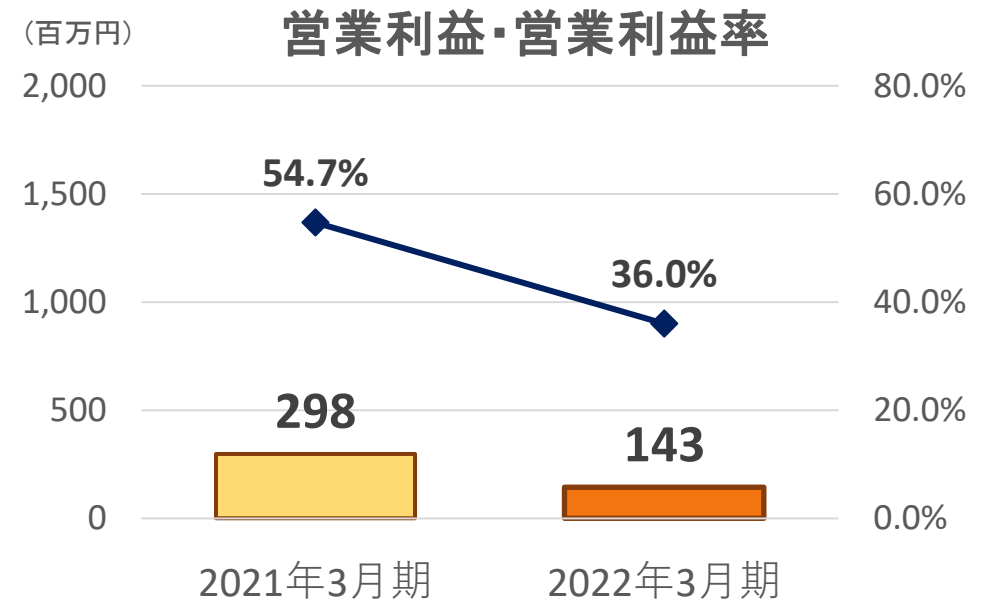
化学品事業



◆当社の取組み

原料価格高騰による工業用リン酸販売価格の見直し、及びHALAL認証を活かした東南アジア向け化粧品原料等の販売が好調に推移したことにより、売上高6,045百万円(前年同期比27.4%増)、セグメント利益は624百万円(前年同期比57.9%増)となりました。

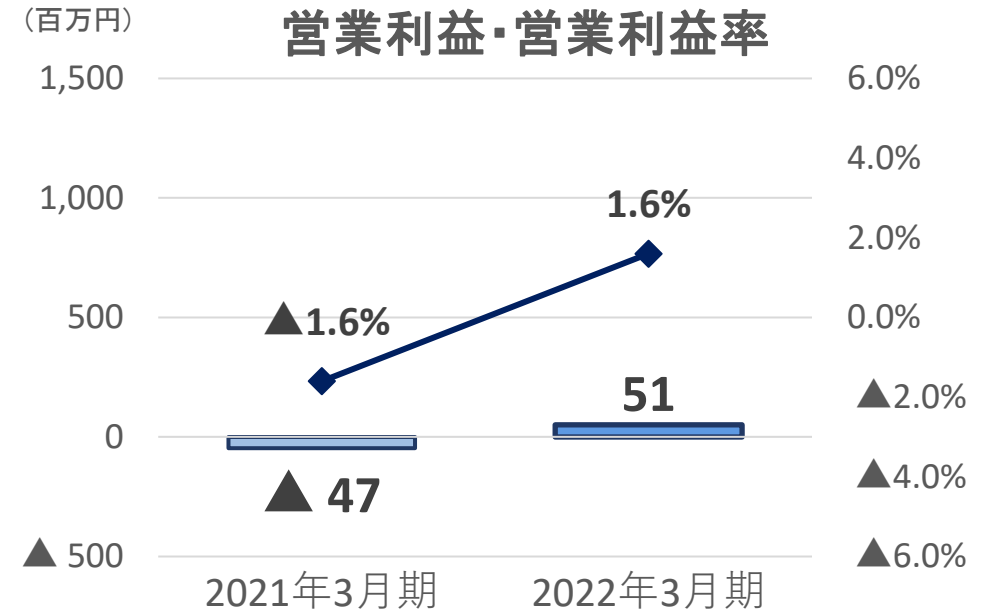
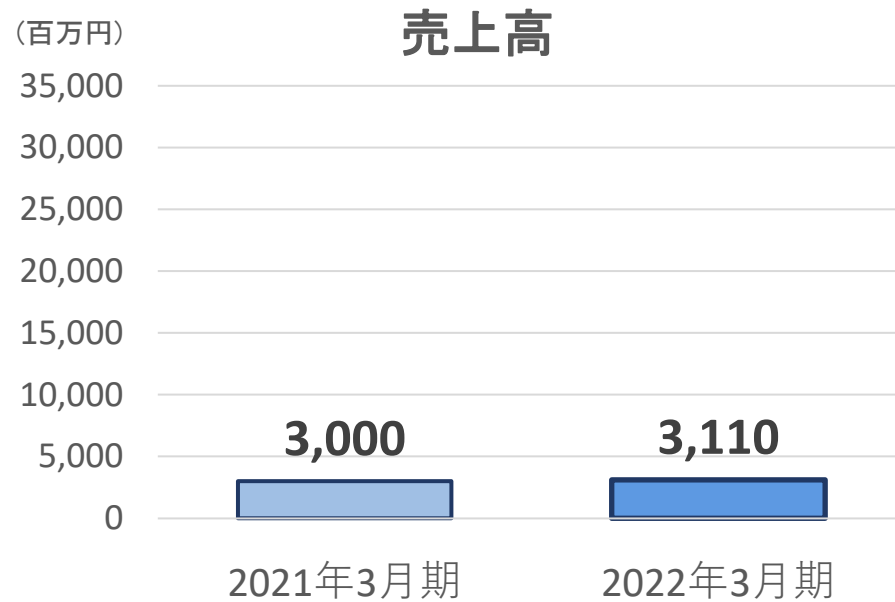
不動産事業



◆当社の取組み

渋谷駅前に有する物件のテナント変更等により賃料収入が減少し、売上高399百万円(前年同期比26.7%減)、セグメント利益は143百万円(前年同期比51.7%減)となりました。

その他の事業



◆当社の取組み

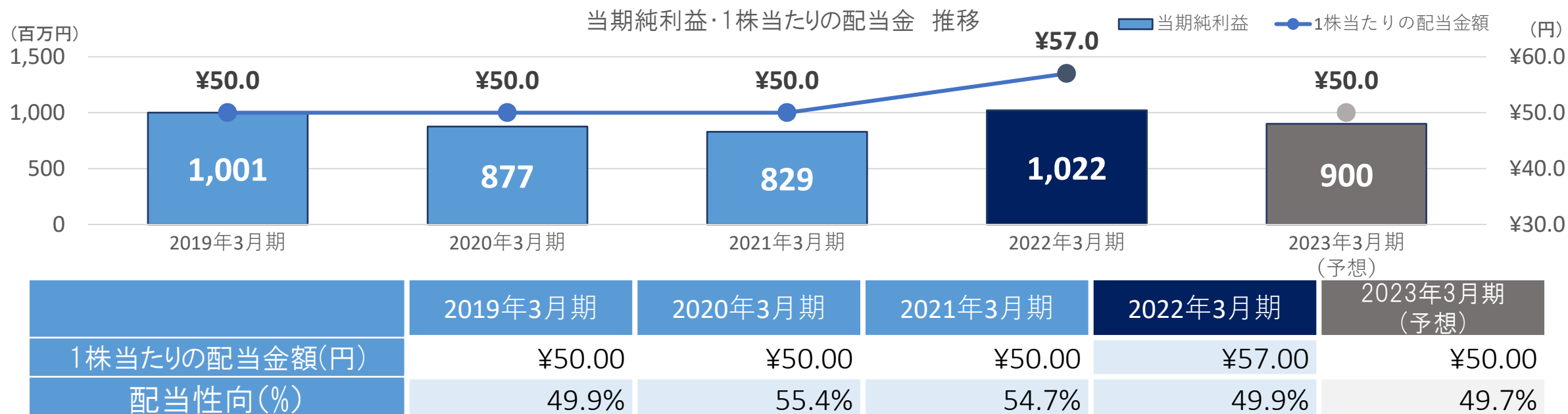
運送・請負事業、食品農産物販売が好調に推移したことにより、売上高3,110百万円(前年同期比3.7%増)、セグメント利益は51百万円(前年同期は47百万円の損失)となりました。

配当金の推移

当社グループは、持続的な成長と企業価値の向上を図るため、資本効率の向上と財務健全性とのバランスを確保することを資本政策の基本方針といたします。

中期経営計画では不動産事業の渋谷駅前には有する賃貸物件、及び海外事業の中国の合併会社での事業展開の収益を織り込まないため、株主資本当期純利益率(ROE)の具体的な数値目標は立てないものの、資本効率向上の重要な指標ととらえ、新規事業分野への投資、付加価値の高い製品の開発、効率的な生産・販売体制の構築を追求し、連結当期純利益の増大を図り、株主資本当期純利益率(ROE)の向上を図ってまいります。

また、株主に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、安定的かつ継続的に業績に見合った成果の配当を行うことを基本とし、引き続き配当性向50%を目標といたします。





稔り豊かな未来に貢献したい
<http://www.katakuraco-op.com>

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関する業績見通し等、将来に関する記述については現時点で、入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際に業績は今後さまざまな要因やリスクによって異なる結果となる可能性があります。